



かいなん

市議会の本会議の会議録が海南市ホームページ (<http://www.city.kainan.lg.jp/>) の「海南市議会」から閲覧できます。



第13回 こがねぐも相撲大会

6月定例会

補正予算などを可決

議決内容 2ページ

議案の審議結果 3ページ

総務・建設経済・教育厚生委員会の審査概要

常任委員会の概要 3ページ～5ページ

防災・環境・介護問題など10人が質問

一般質問 6ページ～10ページ

常任委員会等の委員構成

新しい議会構成 10ページ～12ページ

日

程

〇6月13日

開会

- ・会期決定
- ・水道事業対策特別委員会委員長中間報告
- ・大規模土地・中心市街地活性化対策特別委員会委員長終結報告・質疑・討論・採決
- ・議会の構成
- ・議員提出議案に対する質疑・討論・採決

〇6月14日

・議会の構成

〇6月15日

- ・議会の構成
- ・各議案上程
- ・市長提案説明

〇6月20日

- ・市政に対する一般質問

〇6月21日

- ・市政に対する一般質問

〇6月25日

- ・議案第46号上程

- ・市長提案説明
- ・市政に対する一般質問

〇6月26日

- ・議員提出議案3件に対する質疑・討論・採決
- ・各議案に対する質疑
- ・議案第36号に対する質疑・討論・採決
- ・議案第46号に対する質疑・討論・採決

〇6月27日

- ・総務委員会
- ・建設経済委員会
- ・教育厚生委員会

〇7月5日

- ・議案第47号上程
- ・市長提案説明
- ・総務委員会委員長報告
- ・建設経済委員会委員長報告
- ・教育厚生委員会委員長報告
- ・各議案に対する討論・採決
- ・議案第47号に対する質疑・討論・採決

閉会

補正予算など
議案20件可決・
同意・承認

6月
定例会

平成24年海南省議会6月定例会は、6月13日から7月5日までの23日間の会期で開かれました。

この議会には、市長から条例の改正や補正予算、専決処分事項など議案16件が、また、議員からは特別委員会設置等の議案が4件提出され、それぞれ可決、同意、承認されました。

議決内容

可決

●規約の変更 1件

▽和歌山県後期高齢者医療広域連合規約の変更
住民基本台帳法を改正する法律の施行に伴い必要な条文の整備を行うため。

●条例の改正 3件

▽海南省職員定数条例の改正
職員定数の見直しを行うとともに、育児休業をしている職員を定数外とするため。

▽海南省南風園条例の改正

介護保険法の改正に伴い、必要な条文の整備を行うため。

▽海南省病院事業の設置等に関する条例の改正

市民病院の新築移転に伴い、

●条例の廃止 1件

▽海南省中小企業振興融資委員会条例の廃止
海南省中小企業振興融資委員会を廃止するため。

●平成24年度補正予算 3件

▽一般会計(第1号)
5485万1000円の増額補正(野尻山残土処分場建設費7588万円増額、五月山保育園整備費5985万円増額、藤白都市下水道建設費1億4088万円減額等)

▽一般会計(第2号)

2100万円の増額補正(6月21日から6月22日にかけての

豪雨災害に対応するための道路・河川等の災害復旧工事費)

▽介護保険特別会計(第1号)

1974万5000円の増額補正

●契約 1件

▽藤白ポンプ場電気設備工事の請負契約締結
契約金額 1億4070万円
工事請負人 株式会社日立製作所 関西支社

●その他 2件

▽旧来の慣行の廃止
野尻山残土処分場建設事業を進めるに当たり、建設予定地内にあるため池を廃止する必要があるため。

▽公有水面埋立ての免許出願に対する意見
スパーセンターオークワの南側にプレジャーボート係留施設を建設するため。

●議員提出議案 4件

▽海南省議会委員会条例の改正
議会運営委員会の委員の定数を9人から12人に変更。

▽水道事業対策特別委員会の名称、委員定数及び特定の事件の変更

▽新庁舎建設特別委員会の設置

▽地域防災特別委員会の設置

承認

●専決処分されたもの 4件

▽海南省税条例の改正

▽海南省国民健康保険税条例の改正

▽平成23年度一般会計補正予算(第6号)

▽平成24年度海南省同和対策住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)

同意

▽海南省監査委員選任の同意

中家悦生氏(新)
椋木234番地4

報告

●報告書類 2件

▽平成23年度海南省一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

▽平成23年度海南省水道事業会計予算繰越の報告

提出

●提出書類 1件

▽海南省土地開発公社の経営状況を説明する書類

中間報告

▽水道事業対策特別委員会

終結報告

▽大規模土地・中心市街地活性化対策特別委員会

議案の審議結果

■全員賛成で可決・承認・同意した議案

議案番号	議案名	結果
報告第2号	専決処分事項の報告について（海南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
報告第3号	専決処分事項の報告について（平成23年度海南市一般会計補正予算（第6号））	承認
報告第4号	専決処分事項の報告について（平成24年度海南市同和对策住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号））	承認
議案第36号	和歌山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決
議案第37号	海南市職員定数条例の一部を改正する条例について	可決
議案第38号	海南市南風園条例の一部を改正する条例について	可決
議案第39号	海南市中小企業振興融資委員会条例を廃止する条例について	可決
議案第40号	海南市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第41号	平成24年度海南市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第42号	平成24年度海南市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第43号	藤白ポンプ場電気設備工事の請負契約締結について	可決
議案第44号	旧来の慣行の廃止について	可決
議案第45号	公有水面埋立ての免許出願に対する意見について	可決
議案第46号	海南市監査委員選任の同意について	同意
議案第47号	平成24年度海南市一般会計補正予算（第2号）	可決
発議第2号	海南市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決
発議第3号	水道事業対策特別委員会の名称、委員定数及び特定の事件の変更について	可決
発議第4号	新庁舎建設特別委員会の設置について	可決
発議第5号	地域防災特別委員会の設置について	可決

※議案第46号については、中家議員に関係する議案のため、中家議員は議事に加わることはできません。

■賛否の分かれた議案

議案名	日本共産党 海南市議団				公明党			新志クラブ				市政クラブ					市民クラブ				無所属	結果	
	河野敬二	上田弘志	岡義明	橋爪美恵子	前山進一	黒木良夫	中家悦生	川口政夫	川崎一樹	黒原章至	榊原徳昭	栗本量生	山部弘	宮本憲治	寺脇寛治	出口茂治	磯崎誠治	宮本勝利	片山光生	中西徹	美ノ谷徹		川端進
報告第1号 専決処分事項の報告について（海南市税条例の一部を改正する条例）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

【○…賛成 ×…反対】

※議長は賛否に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」が認められています。

平成26年4月1日においては、150床に対し90%の病床利用率で想定し、医師24人、看護師139人、医療技術職24人、事務10人、地域連携室3人の200人体制で計画している。

今回改正をお願いする211人

平成25年3月の新病院開院時は、150床に対し病床利用率を80%と想定し、医師20人、看護師127人、医療技術職20人、事務9人の176人体制で計画している。

平成24年6月1日から、7対1の看護体制を実施し、医師18人、看護師120人、医療技術職20人、事務9人の167人となっている。

護助手1人、事務10人である。

問 病院の職員定数計画を説明願う。

答 現条例の定数170人に対しての内訳は、医師22人、看護師120人、医療技術職17人、看護助手1人、事務10人である。

議案第37号 海南市職員定数条例の一部を改正する条例について

総務委員会



については職員の定数の上限として設定している。

問 新病院開院時に7対1の看護基準でいけるのであれば、平成26年4月に看護師を増やさなくてもいけるのではないか。

答 基本的には外来部門においては人員配置は同じである。開院時は80%の病床利用率に対しての看護師配置で、1年後には90%を目指している。

病院が新しくなれば、入院患者も増える想定をしているが、医師の確保も含めて影響が出てくる。

問 看護師の確保はできるのか。

答 現病院で、数年前であれば公募しても応募が少なく、苦肉の策として随時募集をしながら、看護師の確保をした時もある。ただ、新病院の計画が進捗する中で、平成24年4月1日付採用では、10人程度の公募に対し、応募者が18人であった。新病院効果で、一定の看護師の確保は達成できると考えている。

問 病院の臨時職員について説明願う。

答 平成24年6月1日現在で、看護師、准看護師の正規職員が

120人、常勤換算での臨時職員の看護師は13・8人で、率にして約10%である。臨時職員の看護助手については、病院全体で常勤換算で25人雇用している。

現在、新病院開院に向けて患者やスタッフについて有効的な流れを考える中で、どのような形の人員配置をしていけばよいか検討している。

議案第41号 平成24年度海南市一般会計補正予算(第1号)中の総務費について

問 地域公共交通協議会負担金について説明願う。

答 平成24年10月1日に和歌山バス亀川線が廃止される。そのことにより亀川地区を通る公共交通がほとんどなくなるために、現在和歌山バスが通っている亀川線、またコミュニティバスが一部しか走っていない小野田地区を含めて亀川4地区にコミュニティバスを運行しようとするためのものである。

問 運行を請け負いする事業者はどこか。

答 入札で決定したいと考えている。

建設経済委員会

議案第40号 海南市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

問 患者に室料差額を徴収することができる場合、できない場合はどういつときか。

答 室料差額を徴収できるのは、患者が個室を希望する場合のみである。大部屋利用の場合、大部屋希望だが空きがなく個室に入る場合、医学的観点から個室が必要と病院が判断した場合は徴収しない。

問 過去には説明等がなく室料差額が請求されることがあったがどうか。

答 あってはならないことであり、事務職員、看護師に強く指導する。

問 室料差額の算定根拠は。

答 他の公立病院を参考に、建築年数、設備等を加味し、決定している。

問 診察に要した時間の駐車料金は無料になるが、その場合の精算方法は。

答 会計時に駐車券を割引ライナーに通して精算する。夜間は守衛室でそれを行う。

問 来院者以外の駐車を遠慮してもらうための管理はどうするか。

答 当面は料金差等で対応したい。
議案第41号 平成24年度海南市一般会計補正予算(第1号)中の土木費について

問 藤白都市下水道で計画されている排水場の想定雨量は。自家発電装置が冠水して使えなくなりはしないか。

答 海南市における都市下水道事業は、全て時間雨量50ミリで計画している。付近の海拔は、約2メートルである。付近の水路や海の状況等もあり断言はできないが、基本的には浸水しないと考えられる。

問 津波が8メートル超と想定されているが、電気設備を高所に上げる必要はないのか。

答 都市下水道は内水排除が目的で、機械を水路と同等の高さに設置するため津波被害は免れない。電気設備だけを高所に設置することは技術的に可能であるが、

教育厚生委員会

建設費等を考えると困難である。
議案第44号 旧来の慣行の廃止について

問 池の埋め立て後の水利権者への対応についてはどうなっているのか、また農業委員会等との協議・確認の有無についてはどうか。

答 対象となる4つの池のうち、ハンヨモン池のみ水を使用していた耕作地は残っている。対象地権者には、池の埋め立て後は残土処分場の貯水施設の一部を使用することで了解を得ている。池の利用者からは使用権廃止の同意書もいただいており、水の使用の廃止に際しては地区自治会長、農業委員等に署名をいただき確認している。

議案第45号 公有水面埋立ての免許出願に対する意見について

問 施設完成後の管理、利用基準作成等はどこがするのか。

答 係留施設の收容能力は71隻であり、完成後の管理は事業主体である海南市が行い、利用規定は条例設置等を行う。係留施設完成後に「重点調整区域」を解除して「係留禁止区域」として設定し、施設に船を誘導する予定である。

議案第41号 平成24年度海南市一般会計補正予算(第1号)中の民生費について

問 五月山保育園のこども園化について、今回の当該保育園の拡充が、市の幼保一元化の計画にどのようにかかわってくるのか。

答 幼稚園・保育所にかかわる今後の計画については、こども園化していく考えではあるが具体的なものには至っていない。国の流れとしてもこども園化の進がうたわれており、今回の五月山保育園のこども園化についても県との協議の中で補助事業の対象となる見解があり、補正予算を計上した。

問 ①園児を送迎する車が地域住民に及ぼしている問題について、どのような協議をされてきたのか。②五月山保育園の将来展望はどうなっているか。

答 ①駐車場の問題については、現在、保育所の北側の土地を購入し、駐車場として使用しており、増築後も引き続き使用すると聞いている。

②今回、幼稚園部を20人増やしてこども園化するわけであるが、その後の具体的な計画はないと聞いている。

問 ①定数は長時部が90人、短時部が20人、合計110人ということであるが、増築することによってこれらの定数を増やすことができるのか。②五月山保育園では幼稚園教諭を新しく雇うと思うが、保育園児と幼稚園児を一緒に見ることができるとか。

答 ①面積要件以上の子供を預かることはできないが、保育士を確保し面積要件がクリアできれば、定数を増やすことは可能である。②幼稚園教諭と保育士の資



五月山保育園

格についてであるが、現在、保育科を卒業するほとんどの方が幼稚園教諭2種免許を同時に取得しているため、幼稚園児と保育園児を見ることができるとか。

議案第42号 平成24年度海南市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

問 介護給付費準備基金積立金について、当初予算は2464万5千円で、前年度のプラス分を積み立て、来年はプラスマイナスゼロ、3年後は赤字になるために積み立てるということであるが、幾ら積み立てれば3年後の赤字に備えることができるのか。

答 介護保険事業は、3年間を一区切りとし保険料の設定や給付の見込みを立てており、初年度は黒字基調、2年目で収支均衡、3年目で赤字基調という収支を見込んでいる。後年度の給付費の増に対応するために積み立てをしていくものであるが、給付費の伸びが不確定であり、初年度の介護保険料については計画見込みを立てているが実際の被保険者に対して賦課はしていないので、積立金を幾ら積み立てておけばよいかということについては明確にはいつらい。

一般質問

市政について10人が質問

市政に対する一般質問は、6月20日、21日、25日、26日の3回間にわたり、10人の議員が行いました。

川端 進 議員

緑の分権改革について

問 ①緑の分権改革の評価とこれまでの取り組み
②今後の方針は。

答 ①緑の分権改革は豊かな資源等を最大限活用し、地域の持久力と創造力を高める地域主権型社会への転換を実現しようとするものであり、活力再生につながる取り組みになるものと認識・評価しているが、取り組みは行っていない。
②第一次海南市総合計画後期基本計画と趣旨を同じくする施策があるものと考えるので、国が進める施策や

土地開発公社の問題について

問 土地開発公社が経営している海南駅前駐車場の課税の問題について。

答 海南駅前駐車場は、平成20年度から課税しているが、公社の公共性などを総合的に判断し、全額減免している。平成16年度から4年間の課税漏れについては、法令に精通しておらず深く反省している。今後このようなことがないように税の公平性の確保、課税事務の適正な執行に努めていく。

再び情報公開と公文書管理について

問 海南市公文書管理要綱と同要綱の条項設定について。

答 海南市公文書管理要綱は7項目で構成されている。第一次海南市総合計画後期基本計画で、市民との共有知的資源である公文書の管理充実に取り組み方針を鮮明にし重点事業として掲げ、現在、マニュアルの作成に鋭意取り組んでいる。条項の設定については、文書作成に当たっての原則を盛り込み、また、廃棄予定の文書もその報告を義務付けるよう改めたい。

その他の質問

・情報公開度調査について
・市教委に問う

中西 徹 議員

家庭系ごみ有料指定袋導入後の経過について

問 ①導入後の減量実績は。
②指定袋以外で

排出された割合とその対応は。
③導入後の不法投棄数は。

答 ①燃やせるごみは前年比で4月は17%、5月は16%、埋め立てごみは4月は66%、5月は50%、それぞれ減少している。
②燃やせるごみは4月が0.6%、5月が0.25%で、埋め立てごみは4月が2.9%である。指定袋以外は収集できない旨をシールで貼付している。
③指定袋導入前と変わっていない。

通学路の交通安全対策について

問 ①市内の小中学校の通学形態は。
②危険な箇所への把握の方法は。
③見通しの悪い通学路に優先的にカーブミラー等を設置すべきでは。

答 ①小学校では徒歩での集団登校が8校、個々に登校が5校。中学校では徒歩または自転車で行く通学している。
②各小学校の地区別児童会で、危険

買い物弱者対策について

問 ①海南食品中央卸売市場の閉鎖に伴い閉店した小売店は。
②軽トラ市を買い物弱者対策に利用できないか。

答 ①閉鎖に伴い仕入れ困難となり閉店した業者は、旧海南市、旧下津町地域とも各1〜2店舗程度であると聞いている。
②軽トラ市は地域の産物を市民に知ってもらい利用してもらうこと、中心市街地活性化を目的としている。買い物弱者対策とするには関係者の協力が欠かせず、調整に相当時間を要すると考える。

片山 光生 議員

避難所、津波避難場所、避難経路の整備について

問 ①黒江・船尾地区における津波避難場所や避難経路の整備について。

答 ①地震による家屋の倒壊で通行が困難となるので、専門業者による調査結果や沿岸地域の皆様の意見を踏まえて整備する。②必要箇所に手すりや看板を設置し、安全に避難できるように整備する。③津波避難の目安として設置した。今後は避難所を明示する表示板の設置を計画している。

避難生活の対策について

問 ①飲料水について。②生活用水について。③仮設住宅用地について。④電源の確保について。

答 ①耐震性の排水池が6池と貯水槽が3基あり、満水時で約6300トン、最低水位時でも約4400トンの飲料水が確保できる。②ため池、学校のプール、雨水があるが、地下水が利用できれば最も有効である。また、井戸の状況把握をしておくことが重要である。③学校の運動場や公共施設の広場での建設を考えている。④今年中に全ての避難所に発電機を整備する計画である。

問 ①耐震性の排水池が6池と貯水槽が3基あり、満水時で約6300トン、最低水位時でも約4400トンの飲料水が確保できる。②ため池、学校のプール、雨水があるが、地下水が利用できれば最も有効である。また、井戸の状況把握をしておくことが重要である。③学校の運動場や公共施設の広場での建設を考えている。④今年中に全ての避難所に発電機を整備する計画である。

自主防災組織の結成について

問 自主防災組織の結成率100%を達成するには。

答 自主防災組織の結成率は、6月1日現在、68%である。今後、自治会連絡協議会や未結成の自治会に対しお願いをするなど、災害に備えた地域の自発的な防災力の必要性の啓発に努めていく。地域の防災に対する意識の差や、高齢化、人口減により組織を担う人

がいないという状況のため、完全に100%にするのは難しいと考える。■その他の質問

・避難体制について
・防災対策について
・有料ごみ袋の有効利用について

中家 悦生 議員

住民センター、中野上公民館、野上中教育集会所の問題

問 ①住民センターが、日曜・祝日に休館すること

が、地域住民の利便性を満たしているのか。②耐震性について問う。③東海南地域へコミュニティセンターを新設し、従来施設との統廃合を。

答 ①今後、住民センター運営委員会をはじめ関係部署で幅広く協議して、休館日や日曜・祝日の暫定的な貸し館についても考えたい。②住民センターと教育集会所は耐震診断を実施していない。中野上公民館は新耐震基準を満たして

いる。③現在、具体化にはまだ至っていないが、今後海南市のまちづくり全体の中で関係各課とともに協議したい。

正規職員と臨時職員の仕事の割り当てに関する問題

問 臨時職員に過度な仕事

が割り当てられていることにかかわって、職場の現状把握と管理・指導、職場改善について問う。

答 毎年一回、臨時職員も含めて各職場全体における現状・課題を把握するため、各所属長から聞き取りを行っている。合わせて、非常勤職員の職務のあり方、位置づけ、管理等について適正な認識と取り扱いをするよう周知徹底に努めている。また、指摘の点についても、時期を見て調査等を行い改善につなげたい。

岡 義明 議員

介護家族の負担軽減のために

問 ①住宅改修費及び特定

福祉用具購入費の受領委任払い(※)の早期実施を。②高齢者等訪問理髪サービスの周知の拡大を。

答 ①県下の他市では既に導入をしている。現在、導入に当たってのアドバイザーや方法等について他市に聞き取りを行っている。今後は、導入に伴う介護保険システムの検証等を行いながら、できれば今年度中に実施したい。②現在、サービス利用者の皆様や理容組合に通知し、市ホームページにも掲載している。今後はケアマネジャーの会議等の機会をとらえ周知を図りたい。

※受領委任払い：利用者の初めの支払いを1割分で済むようにし、利用者の一時的な負担を軽減する。残りの9割は、利用者の委任に基づき、市から業者に直接支払う。

生活保護制度について

問 ①扶養義務者の扶養が生活保護を受ける上で条件としていないか。

②自立しようとする生活保護受給者が就労できない要因はどこにあるか。

答 ①生活保護を開始する際等、親族等の扶養義務者から生活保護を受ける方を扶養できないか調査している。その結果、個々の事情により、扶養義務を果たせないからといって、生活保護の開始に直接影響を及ぼすことはない。②求人情報と生活保護受給者の職歴や経歴の相違が要因の大半を占めている。また、企業への応募書類提出や採用面接の仕方がわからないという不安要因もある。

ごみ減量、リサイクルは市民とともに

問 ①家庭系ごみ有料指定袋導入後のごみ減量実績を公表すべきではないか。②古紙等の資源ごみの持ち去り対策は。

答 ①ごみの排出量やリサイクル率などについて、半年程度の実績が出た時点で公表を考えている。

②対策の必要性は十分認識しているが、条例で持ち去りを禁止しても、裁判では判断が分かれており、罰金等の制裁の必要性など検討する課題も多く、規定を制定できていない。今後は、先進地の対策内容についてさらに研究・検討し、有効な対策を見出したい。

橋爪 美恵子 議員

汚水処理政策について

問 ①汚水処理の現状、目標及び方針は。②合併浄化槽設置補助要件を県に合わせて広げてはどうか。

答 ①県の平均汚水処理率は51.9%であり、本市は23.3%である。第1次海南市総合計画後期基本計画での平成28年度の汚水処理率の目標は30%である。

今後も、合併処理浄化槽により生活排水処理を行っていききたい。②補助の拡充は、国・県にも一定の予算の枠があり、住環境、生活環境の向上及び産業、商業振興策といった面もあるため関係各課と協議していきたい。

特産品であるビワ産業について

問 ①ビワ産業の現状は。②問題点と今後の対策は。

答 ①ビワは平成17年から5年間で栽培面積で19%、収穫量は約29%、出荷量でも約27%と、それぞれ減少し、出荷額も減少している。②出荷量が減っても価格に反映されないことや、作業に危険を伴い効率も良くななく、高齢化による労働力不足などにより栽培面積の減少が起きている。農協のビワ部会を通じて意見を聞きながら、PRや効果的な取り組みを研究していきたい。

河野 敬二 議員

貴志川流域について

問 ①観光資源を活用した貴志川を生かす取り組みは。②農業での水の利用について。③飲料水としての水源の確保は特に重要ではないか。

答 ①鮎・蛭などを生かした河川の観光活用を検討したい。②農業用水の安定的な確保のため重要な河川であり、農業基盤整備として、土地改良区及び水利組合が所有している施設の支援をしたい。③貴志川からの新たな水利権は取得できないと聞いているが、平成28年度末に上水道に統合し全廃する簡易水道の中で、比較的水質のよい七山簡易水道の取水井戸を生かし、応急給水用の水源に利用したい。

市役所庁舎の建て替えについて

問 ①現庁舎の耐震状況と補強について。②庁舎検討懇話会の位置付け及び役割は。③急いで方針を出すのは難しいのでは。

答 ①現庁舎は昭和40年の建築で、耐震の簡易調査を行ったが、外壁がない上に基礎ぐいがなく、耐震補強は困難である。②懇話会は5回程度開催し、庁舎建設の必要性、庁舎の機能、規模、建設候補地などについて幅広く意見を聞き、今年度中に取りまとめ、市長に報告する。③いつ大地震が発生し、大津波が来るかわからない状況の中、国の緊急防災減災事業の早期活用も考慮し、できる限り急ぎたい。

橋の補強(架け替え)を

問 ①橋の安全点検の実施状況は。②橋の補修、改良工事を地元の業者に発注してはどうか。③新しい山橋の完成後、現在の山橋の維持管理をどうするの

か。

か。

答 ①平成20年度に56橋の点検を行い、平成21年度にはそのうちの54橋の長寿命化修繕計画を立てたが、補修・改良には多額の費用がかかるため14橋に絞り、主要幹線道路の橋の機能を維持していく。②設計金額や内容によるが、ほぼ市内業者による指名競争入札である。③現山橋は新しい橋が完成後撤去の予定だったが、地元の要望もあり、通行車両の重量制限を行いながら可能な限り使用していく。

宮本 憲治 議員

介護保険法第69条による介護サービスのペナルティー(※問題について)

問 不納欠損処理(時効適用)された1547人と現在滞納中の954人、合わせて2501人もの市民にペナルティーの可能性がある。1割から3割負担になるペナルティーを科されることを、介護保険料を

滞納している市民に適切に事前告知した場合、消滅時効の適用を求めず分納による保険料の納付に努めるものと考えられるが、告知の改善を求める。

答 過去の滞納が2年以上の人数は、把握していない。不納欠損となった対象者のうち何人が介護認定を受けるか予測するのは困難である。滞納者への納付奨励の際に一層の周知を図りたい。

※介護保険法第69条介護による介護サービスのペナルティー…保険料の滞納が過去に2年以上あった場合、滞納自体が時効により消滅していても、介護保険法第69条の規定により、利用料の自己負担割合が1割から3割に引き上げられる。

南風園への市の対応について

問 ①南風園、海南市社会福祉事業団への市幹部職員の天下りの廃止を求め。②南風園利用者を守る。

る家族の会から送付されてきた投書及びDVDに関する調査内容を分析し、事業団に対し改善勧告を行い、期限を定めて改善計画を提出、実施させることを求める。改善計画とその実施を評価し、速やかに改善されない場合は、事業団に対して指定管理の一部停止または取り消しを行うことを求める。

答 ①管理職は、市のOBが務めている。いましばらくは現体制でやむを得ないと考えている。②県の監査結果を待ち、それを取りまとめた後、事業団に対して改善勧告を行う予定である。

市民会館利用の改善について

問 ①利用申し込みの期間を3カ月前から6カ月前に、日曜日の利用時間を17時までから21時までに変更することを求める。②サークルや文化活動を行う市民の作品の展示等を行い、

市民が訪れやすい施設に改善することを求める。

答 ①海南市民会館条例施行規則に基づき、教育委員会が必要と認めるものについては予約期間の拡大、開館時間の延長を行う。②施設内の空間を有効利用し、展示スペースの確保や展示方法などをサークルの意向も聞き、検討したい。柔軟に対応できる部分については対応したい。

◆その他の質問
・介護保険住宅改修費及び福祉用具購入費の償還払い制度を受領委任払制度へ早期に改善することを求める

栗本 量生 議員

小学校卒業するまでの子ども医療費無料について

問 市長は「小学校卒業までの子ども医療費無料化について」の陳情を受けたとき、前向きな回答をしたそうだが、どういった回答をしたのか。

答 平成22年12月に「海南市の子どもを守る会」から署名と要望書を受けた際の回答の記憶は定かでないが、同年12月定例会でこの件に係る一般質問で、「重要な施策であることは十分認識している。皆様のお話をお聞きし、改めて重要性を重く受け止めた。しかし、現在の財政状況から実施することは非常に厳しく、優先順位の問題もあり、慎重に検討しなければならぬ。」と答弁をし、結果として平成23年度予算には計上しなかった。

南風園の問題について

問 ①市は市の調査結果に基づき、問題点やその改善策について早く行動を起こすべきではないか。②プロパー職員が成長し管理職として務めを果たせるまで、外部から経営者を迎えてはどうか。

答 ①苦情解決のシステムの改善案について具体

的に示すこと、職員意識の改善に関する研修等を開催することを、市として指導している。②プロパー職員が育つまで、民間の施設で管理職の経験のある人材を確保したいと考えているが、現状では外部から迎えるのは困難な状況である。

上田 弘志 議員

通学路の安全対策について

問 ①通学路における緊急合同点検の取り組みについて。②スクールゾーンの設定状況は。③車道と歩道の色を分けるソフト分離方式を導入しては。

答 ①学校、保護者、道路管理者、地元警察署による合同点検の実施を調整する。また、交通安全団体や自治会等で構成されている安心・安全なまちづくり推進協議会にも連携や協力を働きかける。②現在、5校でスクールゾーンを設定しているが、今回の点検

の調査結果をもとにスクールゾーンのあり方を協議していく。③ソフト分離方式は交通事故防止に効果があると考えられる。対応可能な市道路線を選定し、検討したい。

特養「市立南風園」の高齢者虐待問題について

問 設置者としての市の見解と措置を問う。

答 施設の職員としての意識の低下、マナーの欠如など個人の問題だけでなく、管理体制の機能が果たせていなかったことから、市にも一定の責任があると考えている。措置については、調査を行い、県と相談して対応を進めてきた。南風園の指定管理者である海南市社会福祉事業団に対しては、職員の意識改善に関する研修等の開催計画を提出し、実施するよう指導した。関係法令を遵守し、南風園運営規定に基づき、安心していただけのサービスに努め、信頼される施設運

営を行いたい。

市民農園について

問 ①市民農園に関する基本方針について。②

多様な市民農園の整備について。

答 ①具体的な計画は策定できていない。行政、農地所有者ともに負担が少ない農園利用方式を推進し、所有者、農協等関係機関と協議していきたい。

②市街地やその周辺の農地を市民農園に活用することにより、高齢化や後継者不足の問題を抱える農家の所得が確保でき、作物の栽培に関心を持つ市民の要望にも応えられる。また、耕作放棄地の発生防止にもつながると考える。



新しい議会構成でスタート

議会の構成が決まりました

海南市議会6月定例会で決定した常任委員会・特別委員会・議会運営委員会の委員、一部事務組合議会・広域連合議会の議員及び各諮問機関等の委員など、新しい議会の構成は次のとおりです。

議長・副議長就任のご挨拶

議長 山部 弘
副議長 中西 徹

市民の皆様には、常日頃から本市の議会活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

私たちは、海南市議会6月定例会におきまして、それぞれ議長、副議長に選出されました。身に余る光栄と存じますとともに、その使命と責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

さて、今日、地域社会を取り巻く環境は、人口減少、財政の逼迫などの厳しさに加え、未曾有の東日本大震災や台風災害からの復興への取り組み、防災減災策の再構築など、課題は山積しています。

そのような中で、平成23年4月には「国と地方の協議の場」が法制化され、国と地方が対等の立場で国の重要施策、とりわけ地方にかかわりの深い施策について意見を言えることになりました。また、その場では「社会保障・税の一体改革」、「子どもに対する手当」などについて協議され、地方側の主張に対し国も譲歩するという成果が早くも得られています。

このような協議の場の法制化により地方分権への大きなステップが踏み出せたものと思われませんが、それゆえに、地方議会においてもこれまでの議決機関としての役割のみならず、条例の立案など議会の活性化を図っていかねばなりません。

今後も市民生活の向上や魅力ある地域の創造のために、市議会が一丸となって諸課題の解決に取り組んでまいります所存でございます。

結びに、皆様方のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、就任のご挨拶といたします。

常任委員会

議員は3つの常任委員会のいずれかに所属することになっていて、定められた所管事項について、それぞれ専門的に審査を行います。

総務委員会（定数8人）

総務部、出納室、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防本部・消防署及び消防団の所管に関する事項、他の委員会の所管に属さない事項

◎宮本 勝利 ○川崎 一樹 中家 悦生
岡 義明 山部 弘 榊原 徳昭
川端 進 出口 茂治

建設経済委員会（定数7人）

まちづくり部、水道部、市民病院、農業委員会の所管に関する事項

◎川口 政夫 ○黒木 良夫 中西 徹
磯崎 誠治 寺脇 寛治 片山 光生
上田 弘志

教育厚生委員会（定数7人）

くらし部、教育委員会の所管に関する事項

◎黒原 章至 ○橋爪美恵子 美ノ谷 徹
河野 敬二 宮本 憲治 前山 進一
栗本 量生

特別委員会

特別委員会は、必要がある場合、議会の議決により設置されます。
6月定例会で新たに3つの特別委員会が設置され、各委員が選出されました。

地域防災特別委員会（定数7人）^{（新）}

沿岸地域における津波避難、液状化対策、公共施設の耐震化、河川水害対策について調査・研究を行うために設置されました。

◎寺脇 寛治 ○川崎 一樹 川口 政夫
片山 光生 岡 義明 宮本 憲治
前山 進一

新庁舎建設特別委員会（定数7人）^{（新）}

老朽化している市庁舎の建て替えに関し、防災や街づくりの拠点となる新庁舎について、その位置、規模、行政機能、議会機能も含めた施設面の問題について調査・研究を行うために設置されました。

◎栗本 量生 ○上田 弘志 黒木 良夫
宮本 勝利 橋爪美恵子 磯崎 誠治
榊原 徳昭

公営企業特別委員会（定数7人）^{（新）}

簡易水道及び共同井戸の諸問題、老朽化する水道施設の整備・統合、水源の確保、病院経営の健全化、新病院の医療センターとしての機能について調査・研究を行うために設置されました。

◎出口 茂治 ○河野 敬二 川端 進
中西 徹 中家 悦生 美ノ谷 徹
黒原 章至

議会だより編集特別委員会（定数6人）

市民の皆様に議会活動の状況を周知し理解を深めていただくための手段の一つとして、議会だよりを編集・発行するために設置されました。

◎美ノ谷 徹 ○川崎 一樹 栗本 量生
橋爪美恵子 宮本 憲治 黒木 良夫

議会運営委員会（定数12人）

議会の運営に関すること、会議規則や委員会条例に関すること及び議長の諮問に関することについて協議するとともに、議会運営委員会の所管に関する議案、陳情等を審査します。

◎磯崎 誠治 ○宮本 勝利 黒原 章至
美ノ谷 徹 上田 弘志 岡 義明
川口 政夫 前山 進一 栗本 量生
中家 悦生 出口 茂治 川端 進

監査委員（議会選出）

中家 悦生

一部事務組合議会			
国民健康保険野上厚生病院組合議会	中家 悦生	河野 敬二	寺脇 寛治
海南海草老人福祉施設事務組合議会	榊原 徳昭 中西 徹	橋爪美恵子	磯崎 誠治
海南海草環境衛生施設組合議会	黒木 良夫 栗本 量生 片山 光生	黒原 章至 宮本 憲治	榊原 徳昭 上田 弘志
五色台広域施設組合議会	川崎 一樹 美ノ谷 徹	出口 茂治	片山 光生
紀の海広域施設組合議会	川口 政夫 宮本 勝利	栗本 量生	岡 義明

広域連合議会	和歌山県後期高齢者医療広域連合議会	磯崎 誠治
--------	-------------------	-------

海南・海草議会議員連絡協議会	山部 弘 榊原 徳昭 宮本 勝利	黒木 良夫 上田 弘志 美ノ谷 徹	中家 悦生 河野 敬二	黒原 章至 寺脇 寛治
----------------	------------------------	-------------------------	----------------	----------------

諮問機関等の委員等			
国民健康保険運営協議会	前山 進一 出口 茂治	黒原 章至 美ノ谷 徹	河野 敬二
海南市民生委員推薦会	前山 進一	宮本 憲治	
海南市公害対策審議会	黒木 良夫	橋爪美恵子	寺脇 寛治
海南市営住宅等入居者選考委員会	磯崎 誠治	岡 義明	
和歌山下津港整備・振興促進協議会	山部 弘	川口 政夫	
海南市都市計画審議会	川崎 一樹	宮本 憲治	片山 光生
和歌山下津港（海南地区）津波対策協議会	山部 弘	中西 徹	
第二阪和国道延伸促進期成同盟会	山部 弘		
和歌山県高規格幹線道路建設促進委員会	山部 弘		
近畿自動車道紀勢線海南御坊間整備促進協議会	山部 弘		
国道42号・有田海南間整備促進協議会	山部 弘	川口 政夫	
国道370号海南紀美野間改修促進協議会	山部 弘	川口 政夫	宮本 勝利
国道424号海南有田川間改修促進協議会	山部 弘 寺脇 寛治	中西 徹 美ノ谷 徹	川崎 一樹
県道海南金屋線改修促進協議会	山部 弘 河野 敬二	中西 徹 出口 茂治	黒木 良夫
府県道泉佐野岩出線等整備促進期成同盟会	山部 弘		

編集後記

今年の夏は「節電」が大きなテーマとなつています。私たちはエネルギーを大量に消費しながら便利な生活を送っていますが、節電は、この便利になり過ぎた世の中について思い巡らせるきっかけになるかもしれません。熱中症など体調管理に十分気を付けて暑い夏を乗り切っていたただきたいと思ひます。

今回から議案に対する各議員の賛否の状況を掲載することとしました。これからもより開かれた議会になるよう議論を深め、市民の皆様へ議会の動きをお伝えしていきます。

美ノ谷 徹

議会だより編集特別委員会
委員長 美ノ谷 徹
副委員長 川崎 一樹
委員 栗本 量生
委員 橋爪 美恵子
委員 宮本 憲治
委員 黒木 良夫